

管理番号 66

## 研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名)	新生児への輸血の安全性についての調査研究 (新生児用中心静脈カテーテルを用いた赤血球輸血の溶血・カテーテル閉塞の検討 (in vitro))
研究開発期間(西暦)	2024年4月～2025年3月
研究機関名	札幌医科大学
研究責任者職氏名	助教 野上和剛

※理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

## 研究の説明

- 研究の目的・意義・予測される研究の成果等  
 新生児(特に低出生体重児)における中心静脈カテーテルを使用した赤血球輸血の安全性を評価します。低出生体重児は貧血リスクが高く、赤血球輸血が必要ですが、中心静脈カテーテルを用いた輸血の安全性に関するデータが不足しています。この研究が新生児の安全な輸血方法の確立に寄与し、実際の臨床場面での輸血治療の改善をもたらす可能性があります。
- 使用する献血血液の種類・情報の項目  
 献血血液の種類: 赤血球(規格外)  
 献血血液の情報: なし
- 共同研究機関及びその研究責任者氏名  
 ≪献血血液を使用する共同研究機関≫  
 なし  
 ≪献血血液を使用しない共同研究機関≫  
 なし
- 献血血液の利用を開始する予定日  
 2024年6月1日
- 研究方法《献血血液の具体的な使用目的・使用方法含む》  
 献血血液のヒト遺伝子解析: 行いません。 行います。  
 《研究方法》  
 赤血球を特定の条件下で分割し、試験管内で異なるタイプのカテーテルを使用して輸血を想定した処理を行い、定期的にサンプルを採取して評価します。主要な評価は「溶血度」(赤血球がどれだけ壊れているか)で、副次的な評価には赤血球の形状や数、溶血時に赤血球から溶出する物質(カリウム、LDH、ALT、AST、乳酸)などが含まれます。献血血液は、新生児用中心静脈カテーテルを通じた赤血球輸血のプロセスと安全性評価のために使用されます。
- 献血血液の使用への同意の撤回について  
 研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。
- 上記6を受け付ける方法

「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。

受付番号

本研究に関する問い合わせ先

所属	札幌医科大学医学部小児科学講座
担当者	野上 和剛
電話	011-611-2111
Mail	knogami@sapmed.ac.jp